平成30年度補正・林野庁委託事業「クリーンウッド」利用促進事業のうち生産国情報収集事業 報告会資料

ロシア



森林情報グループ 中村有紀 佐々木勝教

目次

- 1. 森林と林業
- 2. 木材産業
- 3. 輸出概況
- 4. 森林管理体制
- 5. 関連法令
- 6. 違法伐採問題の概況およびリスク
- 7. リスクへの対応 まとめ

1.森林と林業①

• 国土面積: 17,098,246 km2(9連邦管区、85 連邦構成主体)

• 森林フォンド: 11,262,886km2 - 国土の66%。 すべて国有林

→この21%にあたる、2億4000万haが積極的な長期利用。

北西連邦管区極東連邦管区シベリア連邦管区

*森林フォンド:ロシア連邦天然資源・環境省が管轄する領地

1.森林と林業②

• 年間許容伐採量: 7億480万㎡(2017)

• 年間伐採量: 2億3860万㎡ (2018)

<u>→**34%**の利用率</u>

■伐採量では2018年が近年で最大。 そのほとんどがコンセッションから生産 されている。

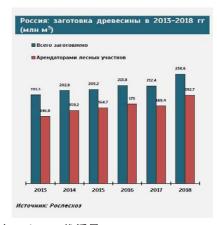


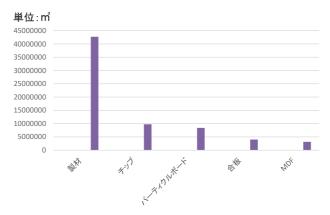
表:ロシアの伐採量2015-2018 (赤がコンセッションでの伐採) 出典:ロシア連邦森林局

●樹種

欧州ロシア	イルクーツク州	ハバロフスク州	沿海地方
オウシュウトウヒ、 オウシュウアカマツ ヨーロッパヤマナラシ シラカバ	オウシュウアカマツ シベリアカラマツ ヨーロッパヤマナラシ	ダフリアカラマツ エゾマツ トドマツ	イチイ、モンゴリナラ、ヤチ ダモ エゾマツ、トドマツ、ダフリ アカラマツ、シナノキ、クル ミ、ニレ

2.木材産業

- 2018年には総伐採量の93%にあたる2億2,000万㎡が ロシア国内で加工されている(ロシア連邦森林局2019)
- しかし製材の生産は、4,270万㎡であり、<u>その他の木材</u> 製品加工は、低いレベルで推移している。この他、紙・ パルプの製造が加わる。(FAO2018)



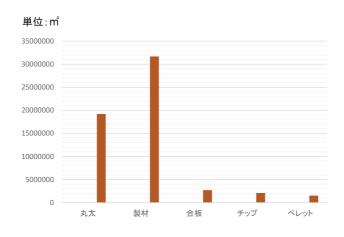
製材	42,701,000			
チップ	9,756,000			
パーティクルボード	8,400,000			
合板	4,013,000			
MDF	3,147,000			

出典: FAO STAT2018 (単位: m)

5

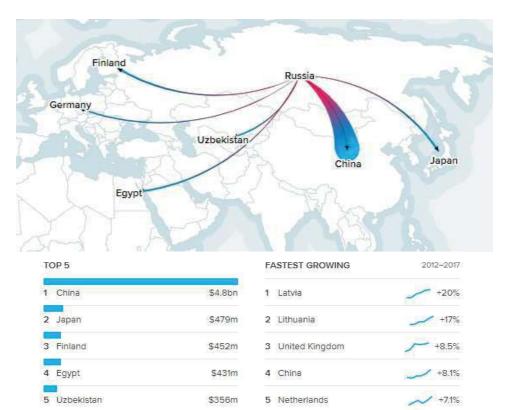
3.輸出概況

- 近年、原木輸出は1,900~2,000万㎡の範囲で推 移している。(ロシア連邦森林局2019)
- 製材輸出は、3,166万㎡であり、これに合板、 チップ、ペレットが続いている。(FAO2018)



丸太	19,197,000			
製材	31,664,000			
合板	2,696,400			
チップ	2,084,256			
ペレット	1,510,962			

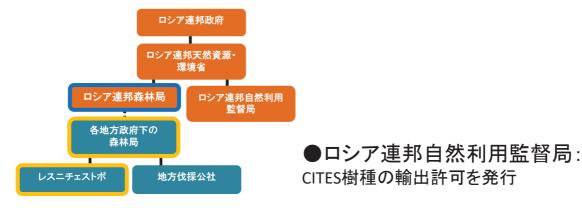
出典:FAO STAT2018 (単位:m³)



出典:「Resource Trade.Earth」Chatam house (2017)

・木材・木材製品を輸出金額でみると、中国が最大であり、 これに日本、フィンランド、エジプトが続く。

4.森林管理体制



●ロシア連邦森林局:

森林計画・利用・保全等に関わる業務(EGAIS、衛星モニタリング等)

●各地方の森林局:

森林計画、オークション、コンセッション契約、立木売買契約、国家契約の実施

●レスニチェストボ:森林開発計画、伐採申請書、森林利用報告の受理

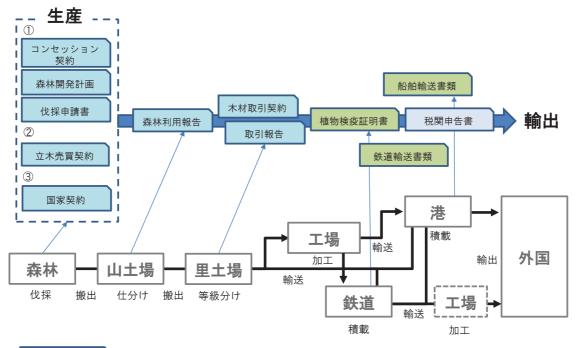
*レスニチェストボ:現場で森林を管理する部署

5.関連法令

法令	概要			
森林法典 No.200-FZ(2006)	森林に関する主要な法律。			
森林法典および行政処分法の一部改正	木材のマーキング、EGAIS の導入について			
について No.415-FZ(2013)				
特定樹種に関する輸出割当について	特定の樹種の針葉樹の丸太輸出を制限する。			
(ロシア連邦政府令)N 779(2013)				
植物検疫について No.206-FZ(2014)	輸出される木材の植物検疫に関する法律。			
丸太関税法	ロシア連邦から輸出される丸太への関税について			
(ロシア連邦政府令)No.1520(2017)				
CITES 樹種の証明について	モンゴリナラ、ヤチダモ等、CITES で輸出制限される樹種への証			
(ロシア天然資源・環境省令)N297(2015)	明書発行について			

9

木材生産・輸出のプロセス



ロシア連邦、あるいは地方・州の森林局が関与するプロセス

その他の色

森林局以外の連邦機関が関与するプロセス

EGAIS(統一国家自動情報システム)



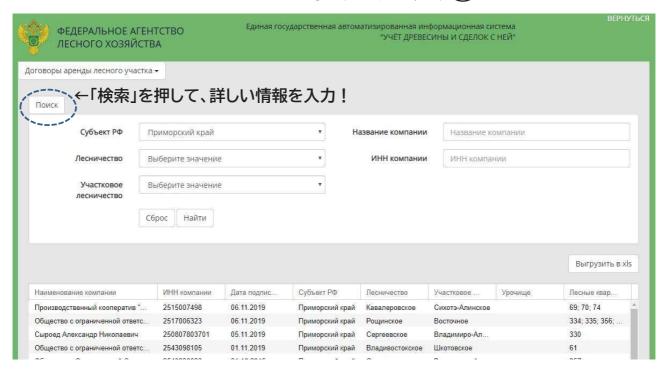
- ・2016年に導入。木材生産から流通まで統一的に管理するシステム。
- ・連邦関税局のデータとも連動しながら、2017年以降システムを改善中。 木材 関連業者すべてが義務的に登録すべきシステム。
- ・申請番号、販売者名称、個別納税者番号、購入者名称(*輸出先業者の名称も含む、個別納税者番号(*国別コード392(日本)、156(中国))、取引日時、容量が確認できる。

EGAISの利用方法①



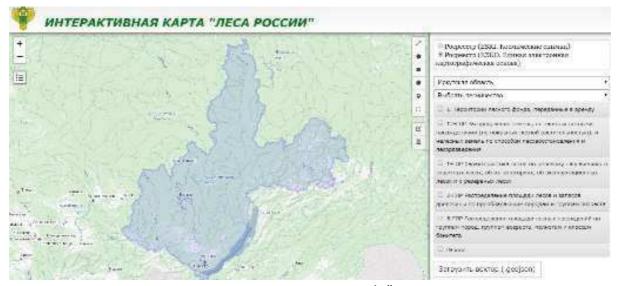
- ・項目を選択すると、ソートされる。
- ・「コンセッション契約」の場合、林班の番号が示されるので、 伐採地のマップと連動する。*森林計画等を参照
- ・サプライヤーの名称あるいは、個別納税者番号が分かれば、それに より取引をソートできる。

EGAISの利用方法②



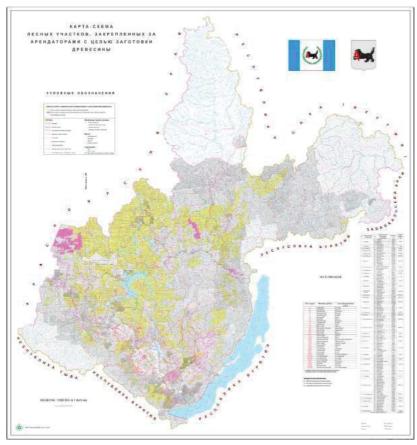
13

インタラクティブマップ「ロシアの森林」



出典:http://geo.roslesinforg.ru:8282/#/

・地方・州を選択後、伐採地、農地等の土地利用法を特定すると、 森林区 (лесничество) 毎でもソートができ、森林利用者、所在地、 林班等が検索できる。



出典: https://irkobl.ru/sites/alh/documents/lesplan/Arhiv/

森林計画

- ・森林法典にしたがい、 地方・州毎に10年に1回 策定される。
- ・地方の特色に応じた 森林の利用・保護・保 全・再生の方向性、経 済効果等が示されてい る。
- ・各種地図が閲覧可能

15

6. 違法伐採問題の概況およびリスク

• 汚職と衛生伐採

違法なコンセッション譲渡、単発的な伐採契約の締結、自然保護区等における衛生伐採が行われる例がある。(特に、高級樹種の伐採)。

• 集材と選別廃棄(ハイグレーディング)

監督機関、管理システムが及ばない、土場等で他の出所の木材との混合が行われ、良質な用材のみが選ばれ取引される例がある。

• 境界線を越えた伐採

合法的に伐採する権利を持つ業者が、コンセッションの境界を越えて伐採する例がある。

・ 森林調査簿(インベントリ)の老朽化

現状、10年以上前に作成された森林調査簿に基づいて森林開発計画が作成されるケースもあり、不正に実質伐採量を報告する例がある。

7.リスクへの対応

★リスクへの対応にあたり、EGAISの情報をもとに、取引先、伐採地域、樹種のリスクを整理しながら、下記の情報を参照することができる。

①連邦機関による取締結果の参照

ロシア連邦森林局が2019年10月初旬までの状況をモニタリング。1,043件のコンセッション契約に関して違反が発覚(加工義務、保全・保護・再生の義務)。違反行為の20%がEGAISへ情報登録していないことによる。

②地方政府と民間団体による取組情報の参照(極東地域)

WWFロシアは、沿海地方において高級樹種を対象とした違法伐採の摘発を目的として衛星モニタリングを活用したシステム「KEDR」の運用を開始。沿海地方政府とも協働を進めている。

また、ハバロフスク地方においては、集材と選別廃棄(ハイグレーディング) の問題を歩留まりから管理する「Electric Official」の取組を進めている。

③森林認証の情報を参照(欧州ロシア、シベリア地域)

既存のシステムを利用した場合でも、厳密な伐採地の管理、サプライチェーンの管理には課題が残るため、多くの業者は、国際的なマーケットを想定した認証制度を利用している。 *認証機関、認証審査機関の情報

17

①連邦機関による取締結果例 衛星モニタリングの結果

Таблица 5

Результаты дистанционного мониторинга по субъектам Российской Федерации

Федеральный округ/ наименование субъекта РФ	Нарушения лесного законодательства по причине не предоставления данных в ЛесЕГАИС в установленном порядке	Нарушения лесного законодательства (ст. 29 ЛК РФ) по причине отсутствия правоустанавливающих документов на заготовку древесины			Нарушения лесного законодательства при использовании лесов по статьям 43-46 ЛК РФ		
	кол-во случаев	кол-во случаев	га	M ³	кол-во случаев	га	M ³
Всего по Российской Федерации	885	2 639	6 702,3	596 851	51	407	14 644
	Центр	альный федер	ральный оп	круг	3 30-		10
Владимирская область	13	37	25,4	2 509			
Ивановская область	3	4	1,4	214			Ĭ.
Калужская область	15	1	0,4	178			
Костромская область	12	24	34,9	6 227			
Смоленская область	2	1	0,3	22			
Тверская область	1	24	21,1	2 791			
Итого по федеральному округу	46	91	83,5	11 941	0	0	0

出典:http://rosleshoz.gov.ru/activity/inventory/presentations?3c27a88569bfd8784281ac7b46011b49

・ロシア連邦森林局による衛星モニタリングに基づいたEGAISへの登録ミス、林業法違反の情報を参照できる。

①連邦機関による取締結果例

悪徳な森林利用者リストの参照

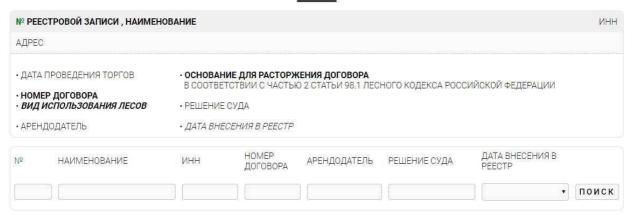
違反件数

РЕЕСТР НЕДОБРОСОВЕСТНЫХ ЛЕСОПОЛЬЗОВАТЕЛЕЙ

КОЛИЧЕСТВО РАСТОРГНУТЫХ ДОГОВОРОВ И ФАКТОВ УКЛОНЕНИЯ ОТ ЗАКЛЮЧЕНИЯ ДОГОВОРА: 704

ЛЕСОПОЛЬЗОВАТЕЛИ: 469 ←森林利用者の数

ОБНОВЛЕНИЕ РЕЕСТРА: 15 НОЯБРЯ 2019



出典: http://rosleshoz.gov.ru/activity/forest_use/registry#registry

・ロシア連邦森林局により、コンセッション契約違反、その他の林業法 違反により、契約が打ち切られた業者のリストを参照できる。

19

②NGOレポートの参照





出典: https://wwf.ru/resources/publications/

・極東ロシアの保育伐、衛生伐採の問題点、ハイリスクなナラ・タモの現状、 極東からの木材輸出の現状などに関する詳細なレポートを参照できる。

③森林認証の情報を参照

【概況】

- ・欧州ロシアを中心に取得者が多い。
- ・この10年でシベリア地域でも増加。
- ・極東ロシアでは、数件のみ。
- ・近年、PEFCの認証面積・件数が急増。

OFSC

FM/COC: 188 件、4.835万ha

COC:677 件 CW/FM:2件

(2019年10月31日時点)

【認証の信頼性】

・シベリア、極東地域については、認 証審査機関の質に関して懸念が示され ることが多い。 PEFC

FM: 54件、3,120万ha

COC:47 件 (2019年9月1日時点)

- ★EUTRに関連した調査レポートでは、FSCが推奨されている。
- ★天然林保全を考慮したDDの必要性が強調されている。
- ★チップ、ペレットに関し、SBP認証が注目されている。

21

その他の参照できる資料 団体認定+個別企業による証明



・極東では、ダリエクスポトレス(極東木材 輸出業者協会)の団体認定をベースに、取引 毎に証明書を発行する例もある。

・EUTRへの対応のため、個別企業として自 社製品の合法性を証明する例もみられる。



まとめ

- ■すべての森林が国有林であり、実質伐採量は許容 伐採量の3割程度。
- ■製材以外の国内での木材製品への加工は発展途上 にあり、木材・木材製品の輸出先は中国が圧倒的 に多い。
- ■森林法に基づき導入された木材・木材製品の流通 管理システムEGAISでは、コンセッションから輸 出までの情報を参照できる。
- ■上記に加え、木材・木材調達に際したリスクを軽減するため、①政府機関の違法伐採対策情報、② ①と連動した民間団体の取組情報、③森林認証等の情報を収集できる。